

『住家被害認定システム』

罹災証明書ソリューション『住家被害認定システム』は、スマートデバイスを使って罹災証明書の発行に必要な住家被害認定調査業務を円滑に行う機能を提供します。従来、紙に手書きで記載していた内容は、スマートデバイスで簡単に入力。デジカメで撮影し後からPCで取り込んでいた写真も、スマートデバイスで簡単に撮影できます。

災害発生時

罹災証明書発行に必要な住家被害認定調査をスマートフォンやタブレットなどのスマートデバイスを用いて、1次調査（外観）や2次調査（立入）を予め設定された設問に答えていくことで効率よく被害認定していくことができます。同様の建物被害の調査を行う地震保険の査定業務で、全面導入されており、東日本大震災や熊本地震での稼働実績があります。

①作業指示 ②業務確認



平常時

災害時だけに必要となる被害認定調査業務だけでなく、日々の固定資産税関連の調査業務や、建物や設備の定期点検などの日常業務にもご利用いただけますので、単なる災害対策専用システムではありません。

The screenshot shows the mobile application interface. At the top, it says '応急危険度判定' (Emergency Hazard Level Assessment) and '現地で入力' (Input on-site). Below that, there are sections for '危険' (Danger) and '応急危険度判定・コメント' (Emergency Hazard Level Assessment/Comments). A yellow arrow points from the '外観・住家全部が倒壊' (Exterior/Residence completely collapsed) section to a '即帳票' (Instant Report) section. The '即帳票' section shows a map of a residential area with '住家' (Residence) and '道路' (Road) labeled. Below the map, there are various input fields and checkboxes for damage assessment, such as '外観・住家の一部の階が全部倒壊' (Exterior/Residence, some floors completely collapsed) and '外観・基礎のいずれかの辺が全部破壊しており、かつ破壊している基礎直下の地盤が液状化等した後、基礎の直下の地盤が流出、陥没等している場合' (Exterior/Foundation, one or more edges completely destroyed, and after liquefaction of the ground directly under the destroyed foundation, the ground directly under the foundation has flowed out, subsided, etc.).

【項目の種類】

種類	説明
文字列（全角、数字など）	数字、英数字などに絞った入力が可能です
現在時刻・位置	GPS情報を基にした時刻や位置が記録できます
日付	日付や時刻を入力します
ドロップダウン	リスト表示される選択肢から選択します
セグメントコントロール	横並びの選択肢から選択します
写真	写真を撮影します（GPS情報の記録も可能）
音声	音声を録音します（GPS情報の記録も可能）
外部リンク	操作マニュアルなどを参照します

動作環境：

スマートフォン：iOS、Androidに対応
 管理画面：Internet Explorer、Chrome
 サーバ：Linux系OS

提供形態：

パブリッククラウドやプライベートクラウドでのご提供に加えて、オンプレミスでのご提供も可能です。また、セキュリティ面においても暗号化は勿論、専用線利用も可能です。

「SmartAttack®」は㈱G-Smart（㈱ゴーイング・ドットコム）の登録商標（第5398517号）です。記載された各社の社名、製品名、サービス名は各社の登録商標または商標です。

株式会社ゴーイング・ドットコム

〒111-0042 東京都台東区寿2-10-13 田原町シティビル5階

TEL: 050-3533-5019 FAX: 03-3843-5019 E-mail: ask@going.co.jp